

淡海生涯カレッジ湖南校の実践

湖南校実行委員会

1. テーマについて

平成 18 年度、大学等の高等教育機関や高等学校、まちづくりセンター等さらには県・市町の諸施設における様々な学習機会提供機関により、高度な学習要求に応える体系的、専門的な学習機会を提供するとともに、学習機会を生かした社会参加を支援するために淡海生涯カレッジ湖南校の講座が開設されました。

このカレッジは、地域や社会の課題についての知識を習得し、それを基礎としながら、一人ひとりが主体的に関わっていくための技能や判断力を身につけ、地域活動（コミュニティ活動）やボランティア活動の実践に結びつけていく地域学習という学習目標のもと実施してきました。

（1）テーマの変遷について

年度	テーマ
H18 年度	住みよい暮らしと地域社会をめざして
H19 年度	住みよい暮らしと地域社会をめざして
H20 年度	住みよい暮らしと豊かな環境づくり
H21 年度	住みよい暮らしと豊かな環境づくり
H22 年度	【健康でイキイキ 癒し生活】～健康で生き抜くための『技』を知ろう
H23 年度	【健康でイキイキ 癒し生活】～健康で生き抜くための『技』を知ろう
H24 年度	地域で学ぶ健やか生活～暮らしを見直してみよう～
H25 年度	地域で学ぶ健やか生活～暮らしを見直してみよう～
H26 年度	学びから生きがいへ～住みよい暮らし・地域づくりをめざして～

（2）学習内容について

淡海生涯カレッジでは、市内社会教育施設、高等学校、そして大学等の地域の生涯学習機関がそれぞれの特色を出した講座を開設してきました。これらの講座をすべて受講することで身近な暮らしを取り巻く健康や社会、文化などについて学び、地域活動（コミュニティ活動）やボランティア活動の実践に結びつけていく学習とし、経験と知識が身につけられるよう計画されてきました。

学習内容は、大きく分けて、【問題発見講座】、【実験・実習講座】、【理論学習講座】の3つを設けてきました。

【問題発見講座】は、講義や実習等を通じて住みよい暮らしと地域社会に関する幅広い知識を身につけるとともに、受講者一人ひとりが自分なりに問題意識を高めていくことを重視した講座でした。

【実験・実習講座】は、身近な暮らしについての体験を重視した講座でした。私たちの身近な生活を取り巻くさまざまな環境について実際に見て、触れて、体験することで受講者の皆さんは、先に学習した問題発見講座での問題意識をより明確にすることができました。

【理論学習講座】は、暮らしと地域社会をつなぐ取り組みにおいて十分な成果をあげるためには、知識と経験の両方が結びつくことが必要ということから設けられてきました。この講座では、これまでの学習の総まとめとして、講義を通じて深く掘り下げ、これから私たちは健全な暮らしを支えるため、どのように地域社会とどう関わっていくべきなのかを考えていきました。

地域の中にあるまちづくりセンターや高等学校、公共施設等での見学・実習の学習から、大学での講義まで段階的に学習することにより、高度で専門的な学習を行うことや、問題に気づき（問題発見講座）、自分の目で確かめ（実験・実習講座）、そして理論的に深める（理論学習講座）学習の後、その成果を生かした社会参加への支援等を目的とした、地域や湖南校の特性を生かした講座内容を行いました。



2. 実施体制について

・実行委員会について

実行委員会は、委員長が招集し、企画運営にあたりました。実行委員会は、①立命館大学教職員、②実験・実習講座の実施を行う高等学校教職員、③問題発見講座講師、④滋賀県教育委員会事務局職員、⑤湖南市教育委員会事務局職員、⑥運営委員、⑦校長が認めた者から成り、校長が任期を定めて実行委員の委嘱を行ってきました。

・各講座群の実施機関について

【問題発見講座】…市内外の公共団体、福祉施設、教育施設、民間企業・団体等

【実験・実習講座】…甲西高等学校、石部高等学校、国際情報高等学校、甲南高等学校、甲南高等養護学校、信楽高等学校、三雲養護学校、水口高等学校

【理論学習講座】…立命館大学BKC

・特色ある取組について

学習運営は運営委員が主体となり、事務局が補佐していました。運営委員は、各講座で受講生の受付をしたり、会場への案内をしたり、初めて参加されるかたの仲間づくりのお手伝いをして、受講生のかたが講座を受講しやすいように細やかな配慮をしてくださっていました。

各講座終了後、毎回、講座の感想等を書いていただく講座日誌を受講生のかたに記入していただいていたました。その日誌をファイリングし、これまでの講座を振り返って確認していただき、今後の参考になるように受付で閲覧できるようにしていました。

定期的にアンケート調査も実施し、受講生の皆さんにとってよりよい講座になるよう工夫してきました。

また、平成25年度からは、「おためしカレッジ」を設けました。この「おためしカレッジ」とは、「どんな雰囲気で行っているのか様子を見てみたい。」「連続での参加は難しい」といったかた向けに設けられたものでした。数名の参加者が気軽に参加してくださいました。



3. 受講者について（最終年度アンケート結果より）

平成26年度の受講生を対象にアンケート調査を実施しました。ここでは、①講座情報の入手方法、②受講動機、③経験の活かし方、④全体の感想について、ご紹介します。

①講座情報の入手方法	回答数
広報	11
新聞	0
ポスター	2
パンフレット	0
ホームページ	8
口コミ	4
その他	3

（複数回答可）

②受講動機	回答数
テーマに興味	15
場所が身近	5
講師がよい	6
多様な場所での学習	17
学習成果が生かせる	5
受講料が手頃	10
過去に受講してよかった	12

（知人から 2）

（電話で依頼して、FAX を送ってもらった 1）

③経験の活かし方	回答数
自らの生活に生かす	19
周りの人たちへ普及・啓発	10
まちづくり	8
特になし	1
その他	1

④全体の感想	回答数
大変よかった	12
よかった	11
どちらともいえない	1

4. 受講者の声（アンケート結果より）

- ・受講内容が良かった。地域を良くしたい！
- ・充実した講師陣によるバラエティーに富んだ学習内容だった。
- ・いろいろなお話を聞いて、目からうろこの場面も多く、楽しかった。
- ・お昼から用事のあることも多かったので時間を守ってほしかった。
- ・地域で多くの知識を学べるし、友達もでき楽しく学習ができる。
- ・幅広いジャンルにわたって効率的なプログラムが大変良かった。
- ・講座期間も適当で、学習テーマもいろんな視点で取り上げられ楽しく、興味深く受講できた。
- ・実習講座で高校生と共に学習する。核家族により、子どもたちと生活することがないので良い。
- ・受講者OBの活動事例、サークルなどの紹介をしてほしい。

（以上）